



福祉や災害対策など幅広い分野で連携・協力

## ヤマト運輸(株)と地域包括連携協定を締結

町では、ヤマト運輸株式会社（東京都）と地域包括連携協定を締結しました。協定締結式は6月22日に西会津町役場で行い、薄町長と齊藤公平郡山主管支店長が協定書に署名しました。

締結式で薄町長は、「幅広い分野で連携・協力を深め官民共創のもと将来にわたり持続可能な町を目指していきます」と述べ、齊藤支店長は、「地域の安全・安心な暮らしと町の活性化に寄与していきたい」とあいさつしました。

今後は、両者がそれぞれの資源を有効に活用し、安全・安心な地域づくりをはじめ、災害対策、環境維持・保全、地域福祉などにおいて協働事業に取り組んでいきます。



▲ 協定書を掲げる齊藤郡山主管支店長と薄町長

後期基本計画の検討・策定に取り組む

## 総合計画検討会議がスタート

町では、現行の「西会津町総合計画（第4次）」の前期基本計画が本年度までであることから、令和5年度から3年間の後期基本計画（下図参照）の策定作業を開始しました。この検討作業は、25人の町民の皆さんが委員を務める「総合計画検討会議」と、25人の町職員からなる「総合計画策定プロジェクトチーム」が連携して進めていきます。

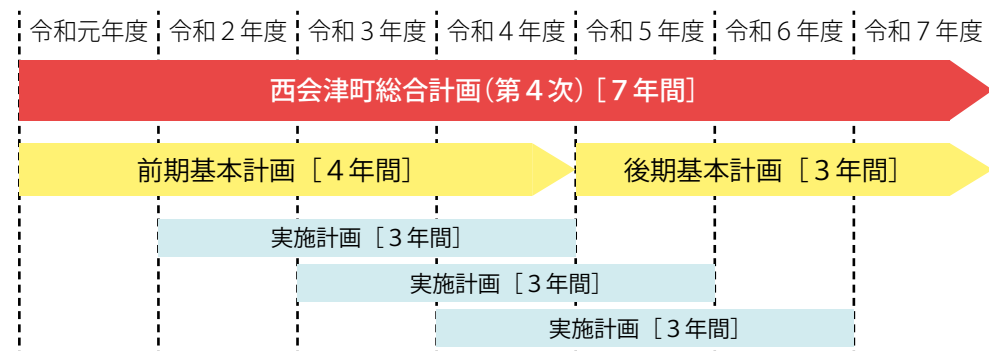


6月20日、1回目の検討会議が町役場大会議室で開

催されました。会議では委員を代表して齋藤美穂委員（尾登）に委嘱状が交付されたほか、本会議のアドバイザーを務める藤井靖史 町最高デジタル責任者から「総合計画策定に向けた世界のトレンド」と題して講演が行われました。その後、会長と副会長の選任が行われ、委員の皆さんによる互選の結果、会長が矢部佳宏委員（中ノ沢）、副会長が津川由紀委員（西原）と齋藤美穂委員に決定しました。

今後は、11月まで月1回程度の会議を予定しており、前期基本計画の評価・検討を行うほか、ワークショップなどを交えながら3か年の後期基本計画の策定に取り組んでいきます。

《西会津町総合計画（第4次）の期間》



長年にわたる活動が高い評価

## 西会津町交通安全母の会が内閣総理大臣表彰を受賞

令和4年安全功労者内閣総理大臣表彰が発表され、交通安全関係団体から西会津町交通安全母の会が受賞しました。昭和46年（1971）に発足した本会では、防災行政無線や街頭での広報活動をはじめ、高齢者世帯への交通安全呼び掛けの年賀状送付など、安心安全な町を目指した活動に長年取り組んできました。

表彰式は7月1日に首相官邸で行われ、同7日には同会の新田幸恵会長と渡部友子顧問（前会長）が町役場を訪れて薄町長に受賞を報告しました。報告を受けた薄町長は「この度の受賞おめでとうございます。長年の功績が高い評価を受け嬉しい。今後も交通事故のない町に向けてさらに活躍していただきたい」と祝福しました。



▲ 写真左から薄町長、新田会長、渡部顧問

自己ベストを目指して、大舞台での活躍を誓う

## 西高ボート部が2種目で全国大会へ

5月27日～29日に行われた福島県高等学校体育大会において、西会津高校ボート部が男子ダブルスカル（3年・上野元城さん、2年・小柴健太朗さん）と女子ダブルスカル（3年・栗城愛里さん、2年・古川萌さん）の2種目で優勝し、全国大会への切符を手にしました。

7月12日、薄町長はボート部の皆さんから結果報告を受け、激励金を手渡しました。生徒一人一人が大会への抱負を述べ、日本一を目指して頑張りたいと意気込んでいました。全国大会は8月9日から愛媛県で開催される予定です。



▲ 写真左から長谷川孝先生、小柴さん、上野さん、薄町長、栗城さん、古川さん、渡邊雅彦校長

適正かつ円滑な監査業務の執行に取り組む

## 町代表監査委員に鈴木和雄さん

前任者の退任に伴い、町の代表監査委員として新たに鈴木和雄さん（山口）が選任され、6月15日に町役場で辞令交付式が行われました。式では、薄町長が辞令書を手渡し、「鈴木さんにはこれまでの経験を活かして、町を良くするために新たな視点から意見していただきたい」と訓示を述べました。

鈴木さんの任期は同日から4年間で、町の財務や事業について法令などに違反していないか、効率的に行われているかを監査していきます。



鈴木 和雄 さん  
（山口）





犯罪や非行のない安全・安心な明るい地域社会を築くために

## 社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達

社会を明るくする運動とは、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安心で安全な明るい地域社会を築くために、法務省が推進している全国的な運動です。

6月23日、第72回社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達が町役場で行われました。式では、喜多方地区保護司会の邊見守会長（写真左から2番目）より内閣総理大臣メッセージが、喜多方地区更生保護女性会の湯田功会長（写真左から4番目）より福島県知事メッセージが大竹享副町長へそれぞれ伝達されました。



## 町長コラム その26



2期目に就任して8月で1年を迎える。この1年を振り返ってみた。

第一に、町の最大の課題である人口減少・少子化対策を最重点に取り組んできた。今年4月から①結婚祝金を30万円に増額。②出産祝金を第1子30万円に、第2子以降を全て50万円に増額して子育て世代の経済的負担の軽減を図った。さらに、子どもの遊び場や保護者の居場所として旧芝草保育所を改修し、「子育てコミュニティ施設キッズランド芝草」を開所するなど、子どもを産み育てやすい環境を整備してきた。このほかにも、③西会津診療所の常勤医師を新たに1名採用、④「まちなか再生拠点施設にぎわい番所ぶらっと」の開設、⑤町内企業支援として除雪費の助成制度を創設、⑥有害鳥獣対策として専門員の増員と解体処理施設の建設着工、⑦下小島地内にライスセンターを整備、⑧ふるさと応援寄附金を1億6千万円確保、⑨町の農業を守るため「農業公社」設立の検討開始などを実施してきた。

2年目に向けての事業管理は、①デジタル戦略の推進による町民サービスの向上、②町の将来を担うリーダー育成塾の開設、③特定地域づくり協同組合の設立の検討、④特別養護老人ホームの増床の検討、⑤企業移転受け入れに向けた企業との関係構築、⑥㈱モンベルとの連携による地域活性化、⑦ジビエ肉の制限解除に向けた取り組み、⑧新たな産業導入の検討など、町の将来に向けて持続あるさまざまな事業を町民の皆さんの目に見えるよう着実な実現に向けて取り組んでいく覚悟である。

西会津町長

薄反喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

